



晩秋の蒜山もおもしろいよ！秋の草原保全活動 「秋から始まる山焼き準備！防火帯の草寄せ」 & 「茅葺職人直伝！“茅”の収穫体験」

■運営

共催：真庭市・蒜山自然再生協議会・蒜山茅刈出荷組合・山焼き隊
重井薬用植物園、特定非営利活動法人岡山NPOセンター
協力：（一社）日本茅葺き文化協会
協賛：損害保険ジャパン株式会社

■概要

開催日時：2022年11月13日（日）10時～16時

※雨天の場合は、翌週20日（日）に延期します。

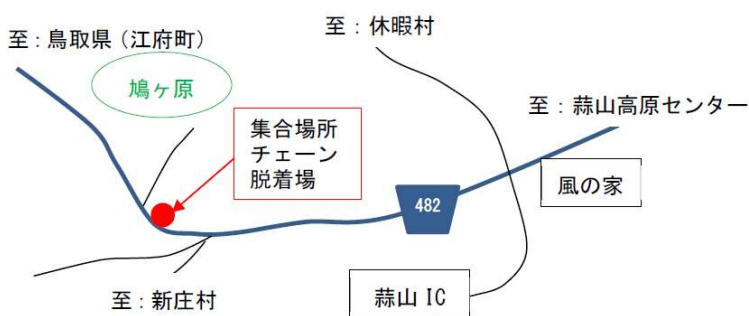
定員：50名程度

開催場所：真庭市蒜山上徳山鳩が原

参加費：大人（中学生以上）1,000円、子ども 500円（保険代および昼食代として）

昼食：ひるぜん焼そば、しし汁、おにぎり

■集合場所：蒜山上徳山国道482沿いチェーン脱着場



脱着場写真↑
GoogleMap QR



↓ **イマココ!** ↓



©岡山NPOセンター

4月の山焼き



©永幡嘉之

5～6月の草刈り



©SAVE-JAPANプロジェクト

11月の防火帯作り



11～12月の茅刈

現代の山焼き草原における年間スケジュール



■スケジュール（※）

- 9:30～ 集合場所にて受付開始
- 10:00～ 開会・作業場所へ移動
- 10:15～ 防火帯草寄せ作業場所に到着。作業開始。
- 12:00～ 茅場近くに移動して昼食休憩
- 13:00～ 茅刈り・茅束ね作業
- 14:30～ 休憩及び茅葺構造の解説
- 15:00～ 仕上げ作業（島立て）、まとめ
- 16:00 集合場所に到着、解散

※開会以降のスケジュールは前後する場合がございます。原則、丸1日ご参加いただける方を優先して受付いたします。ご了承ください。難しい方はメールでご相談ください。

■持ち物

飲み物、雨カップ、タオル、帽子、軍手、長袖・長袖ズボン・斜面の上り下りに適したしっかりした靴（登山靴・長靴、地下足袋など）スニーカーは不適。汚れてもよい服装。
※草寄せに使う道具や茅刈に使用する鎌、応急手当用品は運営側で用意をいたします。

■蒜山における草原管理の変化と蒜山自然再生協議会の挑戦

蒜山高原の草原は、元々は田んぼの肥料や土壌改良材、茅葺屋根や雪囲いなどに用いるため、四季を通じて草原から草を刈っており、**身近で無くてはならない存在**でした。

現在は苦勞して草を刈る必要がなくなり、集落内での文化の継承、観光資源としての草原景観の保護、草原にしか棲めない動植物の保全等を目的に山焼きのみが実施されていますが、**重労働である山焼き（火入れ）**は継続そのものが難しくなっています。

鳩ヶ原では、長年、地元集落で続けられてきた山焼きが、集落の高齢化等により、やむなく停止されそうになりましたが、**2018年から集落の指導を仰ぎながらボランティア団体「山焼き隊」が継承に取り組み、2020年からは「山焼き隊」主体で山焼きを行っています。**

また、**2022年1月に「蒜山自然再生協議会」が発足し、同年4月から同協議会と山焼き隊で連携しながら山焼きを実施しています。**協議会として、**今後も山焼きを継続していくとともに、これまでの地域の草原利用の歴史や文化を踏まえながら、自然再生だけでなく、現在の価値観に合わせた新たな草原管理の形として、資源を活用した物品や自然再生体験型のツアー商品などの販売**に挑戦しています。

